

令和3年度 Faculty Development「新任教員研修」開催報告

福島医大新任教員向けFDを以下の通り行いました。

1. 目的：
 - ・ 高等教育機関における教員としての自覚を涵養する
 - ・ 医学教育の国内外の潮流を理解する
 - ・ 本学における教育の特色を理解する
 - ・ 事例検討を通して、教員として留意すべき内容について理解を深める

2. 日時*：令和3年6月15日（火）16:00～17:00
令和3年6月17日（木）17:00～18:00 *同じ内容を2回実施

3. タイムスケジュール：

時間	内容
16:00 (5分)	開会の挨拶、講師・ファシリテーター紹介 医療人育成・支援センターセンター長 主任教授 / 臨床医学教育研修部門 部門長 / 医学部整形外科学講座 兼任教授 大谷 晃司先生
16:05 (10分)	講演①「Faculty Development とは」 医療人育成・支援センター 助教 及川 沙耶佳
16:15 (5分)	導入 「事例提示」 医療人育成・支援センター 講師 川井 巧先生
16:20 (15分)	グループワーク 「～それはハラスメントになるのか～」 ファシリテーター： システム神経科学講座 主任教授 永福 智志先生 病理病態診断学講座 教授 橋本 優子先生 細胞統合生理学講座 助教 小林 大輔先生 細胞統合生理学講座 助教 三宅 将生先生 医療人育成支援センター 主任教授 大谷 晃司先生 医療人育成支援センター 教授 亀岡 弥生先生 医療人育成支援センター 講師 川井 巧先生 医療人育成支援センター 助教 青木 俊太郎先生 医療人育成支援センター 助手 安田 恵先生 医療人育成支援センター 助手 安井 清孝先生 医療人育成支援センター 助手 諸井 陽子先生
16:35 (10分)	全体共有
16:45 (10分)	講演②「福島医大の教員として知っておくべきこと」 医療人育成支援センター 教授 亀岡 弥生先生
16:55 (5分)	全体 Q&A
17:00	終了

4. 当日の様子

今回のFDは、Zoomを使用して完全オンラインで行いました。
初めに大谷先生より開会の挨拶とファシリテーターの紹介がありました。

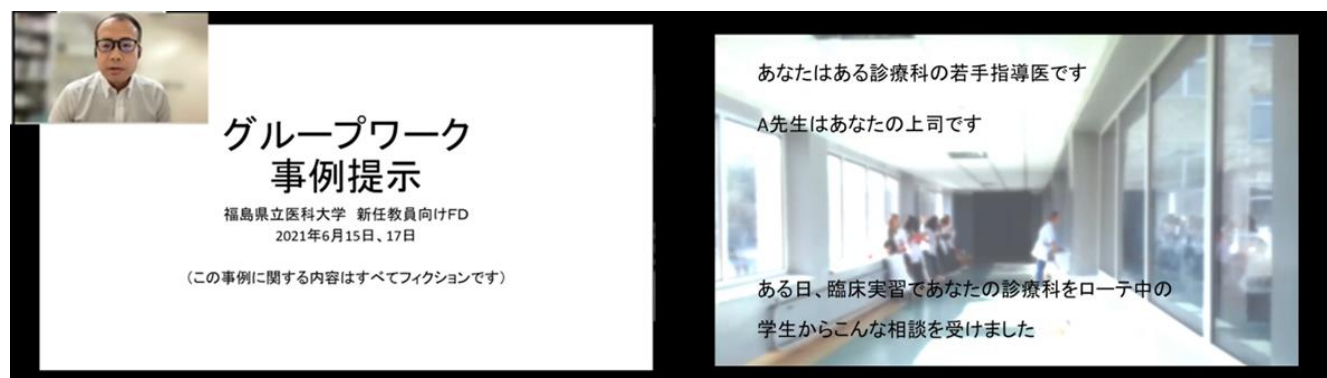


続いて講演①「Faculty Developmentとは？」を行いました。

この講演では、これからの医療人育成を担う教員として知っておくべきことについて、及川より国内外の知見を踏まえた話題提供をさせていただきました。



次に川井先生よりグループワークに向けた事例提示が行われ、グループワークの進め方や全体共有について説明がありました。



事例は、ある若手医師が、学生から自分の診療科の先輩A医師についての相談を受けたという内容です。学生とA医師の両者にそれぞれの意見があり、すれ違いが生じています。

グループワークでは、各メンバーが自己紹介を行ったあと、このような事例はなぜ起こるのか、について検討をしてもらいました。その際、“大学教育現場が抱える困難”や、“医療系の大学教育の特徴”と関連付けながら検討

をしてもらい、グループの意見をまとめた成果物を作成してもらいました。



各グループにはファシリテーターが1名つき、3-6名のグループで議論をしてもらいました。基礎系の先生、臨床系の先生、保健学科の先生、若い先生、ベテランの先生、など様々な立場の参加者がおられて、非常に多角的な視点から意見が交わされていました。

グループワーク終了後は全体共有です。



全体共有では以下のような意見が挙がりました。

- 教員と学生の世代間の差、それが生み出す認識のずれがあるのでは？
- 教員は自分らの世代が受けた教育で若い世代を教育しようとしてしまう
- A 医師に教育業務がすべて集中していることも問題ではないか
- 診療科の中で行われている教育について、科内で共有されていないことのリスク

最後に亀岡先生より講演②「福島医大の教員として知っておくべきこと」が行われました。



この講演では福島医大のカリキュラムや教育システムについての説明や、成人学習理論、認知的徒弟制度、正統的周辺参加論などを踏まえた参加型実習やアクティブラーニングの意義について話題提供があり、全体共有で出

た意見について、解決策を考える際の tips になるような内容が含まれていました。

最後は全体を通しての Q&A を行い、終了しました。

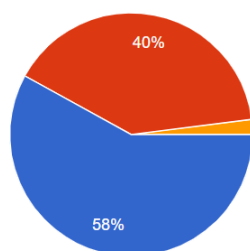


5. 参加者アンケートより

両日併せて 66 名の方にご参加いただき、50 名の方から事後アンケートの提出がありました。(回収率 75.8%)。

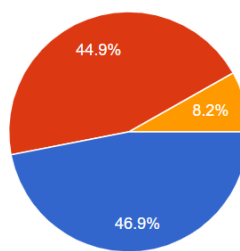
Q1 講義の内容はいかがでしたか？

50 件の回答



Q3 グループワークの内容はいかがでしたか？

49 件の回答



● とても良かった
● まあまあ良かった
● あまり良くなかった
● とてもつまらなかった

参加者からのコメントの一部を抜粋します。

- 様々な年代の先生の意見が聞いて興味深かったです
- 同じような悩みを抱えている先生や様々な工夫をしている先生などいて、刺激にもなりました
- 他の科（特に基礎系）の先生とお話できた
- 医学教育と同様、グループワークのような参加型が良いと思う
- FD はもう少し実践的な内容があると良いかなとおもいました
- 教育を考えるきっかけになった
- 忌憚ない意見が言えた、聞いた
- それぞれの時間がもう少し長いといい。資料も事前にいただけるといい。

アンケートでいただいたご意見より、グループワークや、専門分野を超えた教員との交流は比較的好印象であったことが解りました。さらなる改善点も踏まえ、医療人育成支援センターでは今後も様々な FD を企画していきたいと思えます。